

市民学コース 6 富士見の歴史

定員 60人

古代から現代までの「富士見市の庶民生活」

～縄文時代から現代まで郷土の歴史を知る～

第二回テーマ 古代

「国家統一から律令制時代の東人」

講師 宮瀧 交二教授 大東文化大学文学部

日 時 6月15日(土) 午前10時から12時
会 場 鶴瀬公民館 第三集会室
受講者数 30名

はじめに

講義に入る前に、先生の自己紹介と最近の話題である元号が変わる前に、学者の間でそれぞれ予測が出され、根拠の出典をあげられた。

律令制とは、律は刑法、令は民法、行政法をさし、住民を戸籍に登録していった。

東北は蝦夷、九州は熊襲・隼人と称し、征服の対象、支配・隷属させ差別をした。



・古代の富士見市域

武蔵国 入間郡(現川越市)

文献資料から現状では古代の富士見市を探ることはできない

考古学からみた古代の富士見市域

- ・栗谷ツ遺跡(針ヶ谷) 平安時代・11世紀 須恵器の窯跡
- ・宮脇遺跡(鶴馬) 平安時代 鋳物職人の工房跡
- ・東台遺跡(水子) 平安時代・10世紀 集落(瓦塔が出土・・仏教信仰)

・古代の一般民衆の生活

戸籍・計帳(現在の住民基本台帳のこと)に登録され、納税の義務を負わされる
税の種類は田粗…区分田の米

庸…使役(肉体労働)

調…貢物、各地の特産品、珍味、特産がない所は織物を納めた

雑徭(60日以下)…道普請などの肉体労働

さらに兵役(成人男子の3~4人にひとり)武蔵国の軍団は衛士か防人に。

朝鮮半島の新羅・百済からの攻撃の防御を固めるために防人を配備。

武蔵国の男子は、壮健で武勇に優れていた。九州などの守りに就くのに、東からだ逃げ難いこともあった。

ここで受講生の皆さん質問。当時の平均寿命はいくつだったでしょうか？

w・w・フアリス(アメリカ)が正倉院で戸籍を調査したところ

男性は32.5歳、女性は28.75歳で、短い寿命に3年も兵役に就くことは家族との生き別れを意味した。

・古代の民衆生活をうかがえる史料 文学作品

- ① 山上憶良「貧窮問答歌」(8世紀中葉)ただし、創作性が高いといわれている
- ② 菅原道真「寒早十首」(9世紀末)
- ③ 説話集「日本霊異記」(8世紀末)興福寺のお説教の種本

宮瀧先生の論文より「日本古代の地域社会と民衆」厚木市教育委員会『愛甲の古代を探る』2019年より

先に挙げた①から③について詳述されている。 ※資料原文と現代語訳を参照

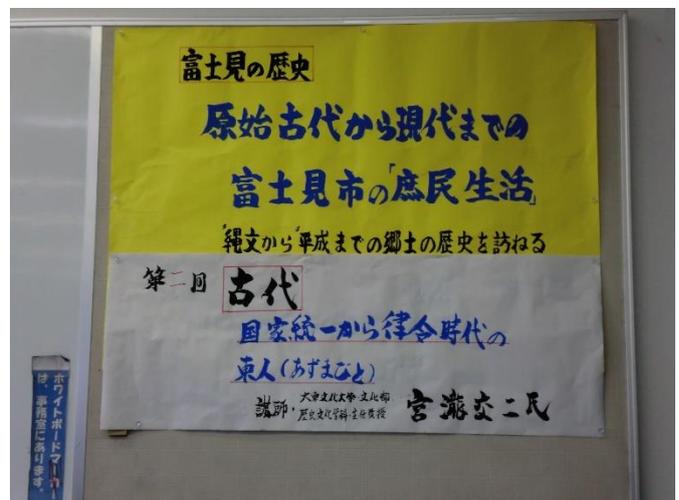
① 山上憶良「貧窮問答歌」の虚実

「貧窮問答歌」は教科書で取り上げられ日本古代の民衆の生活、ごく普通の人々の生活ぶりがイメージされる。

「万葉集」所収のもので憶良が筑前守であった731年の作品である。

近年の歴史学・国文学の研究成果によると、憶良が702年に遣唐少録(書記官)として入唐したときに、当時の詩人の作品に影響を受けたという指摘がある。

創作といわれる所以である。



② 菅原道真「寒早十首」で、農民・漁民・山民の実態を知る

道真が讃岐国司(守)を務めていた886年から890年の間に作られたものであかなり実態を反映させたものである。漢詩(五言律詩)

※資料P.2~3 漢詩と宮瀧先生の構成を参照

讃岐国の疲弊した駅戸、終末期の駅制の実態がうかがえ、瀬戸内海の船舶労働者の姿、木こりも描かれている。

すでに平安時代から製塩業が盛んであったことが裏付けられる。

以上から、宮瀧先生は憶良の「貧窮問答歌」よりも道真の「寒早十首」のほうが、当時の讃岐国の民衆の様々な姿が具体的に描かれ、現在の教科書に採用されるべき史料ではないかと指摘された。



③ 「日本霊異記」から読み取れるものは

柳田国夫が昔話と伝説の違いを述べているが、伝説・説話には真実が含まれている。

説話集より

「武蔵国 多麻郡鴨里出身の防人・吉志火麻呂の悲劇」を史料と現代語訳で比較例示があった。※資料参照

多麻郡は現、あきる野市で、防人の厳しさ、悲劇を示している。

講義内容は、古代民衆の生活について示唆に富む内容で、レジユメに原文と現代語訳の資料があるので読み較べてほしい。

